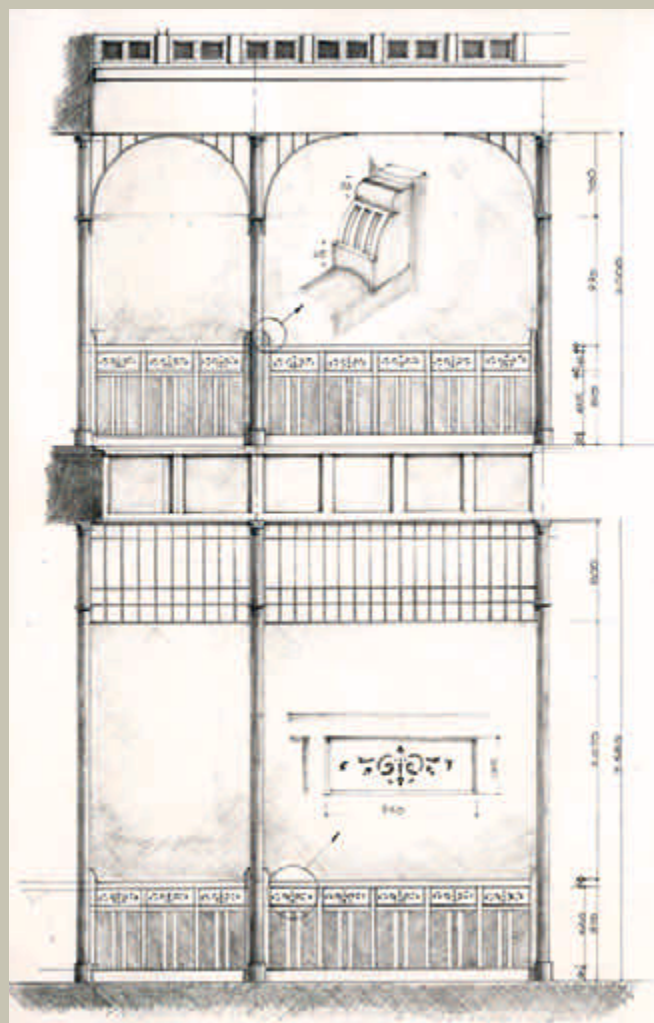


是非一度、現地を訪れ
そして、その中を覗いて見て下さい。
この価値ある不思議な空間に立つと
これまで出会った建物にはない
気の流れを感じてもらえるはずです。

願わくば
前面の倉庫を含めたこのビルに
新しい意欲の湧く方々の
参加を期待しています!

そして
みんなで上野ビル村を作ってみようではあ
りませんか。



■上野ビル吹抜け部 DROWING by A.Yoshizaki



交通アクセス

- JR若松駅 徒歩5分
- 若戸渡船・若松渡場 徒歩2分
- 北九州都市高速道路・小倉駅北 ランプ 車20分
- 北九州都市高速道路・黒崎ランプ 車40分



三菱合資会社の面影を残す敷地内の煉瓦造り倉庫

ご質問、お問い合わせは

TEL093-761-4321まで

Conversion of UENO BUILDING

若松海岸通りに
100年近くを生きてきた、
その歴史の語り部として、
そして自らのこれからを
守ってゆくために

大正10年頃の若松港周辺

今・・・、
世代を越え
各方面へ
その活用を
呼びかけます



Historic Value

渡船場の前に建つ、上野海運ビルは旧三菱合資会社若松支店として大正2年(1913)に建設され、幾多の風雪に堪え、若松バンドの中心的存在として、今日まで生き抜いてきました。建築的にも高い評価を得ている上野ビルは若松のシンボルとして、又地域のランドマークとして新しく整備された海岸沿いに生き残るべきビルです。

しかしながら、長年の風雪により痛んでいる箇所も多くありますが、ビルとしては現在も機能しています。このビルに興味のある方でこの雰囲気の中で何か新しい試みをしようとする人、皆でこのビルを守りながら新しい創造を加えていく志のある方は是非一度ご相談ください。

コンバージョン(回生)で古いものに私達の力で新しい生命を与えようではありませんか。

当時の国策を背景に「特別輸出入港」に指定されてからは若松海岸通りには、中央企業の支店や商社事務所が立並びバンド(今日、唯一その姿を残す)が形成されました。

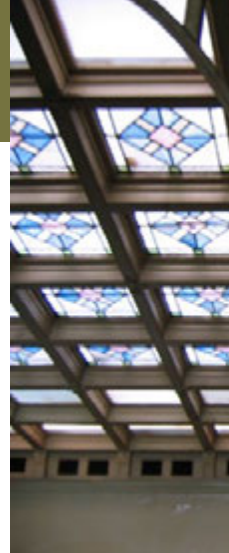


大正初期～昭和初期

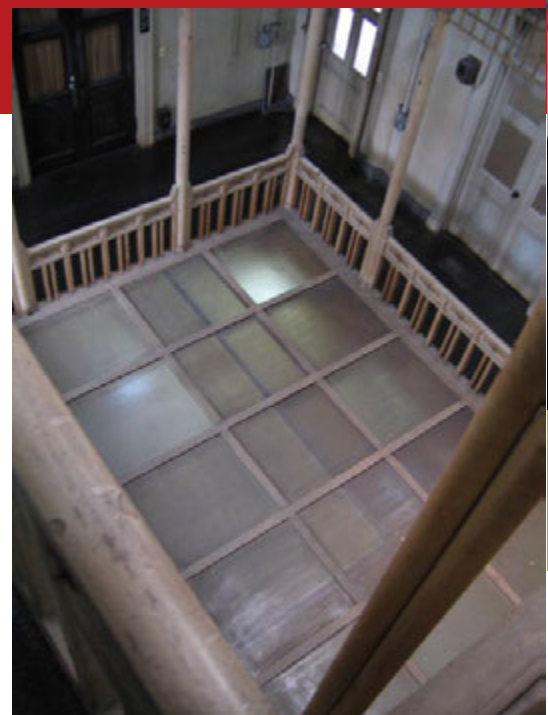
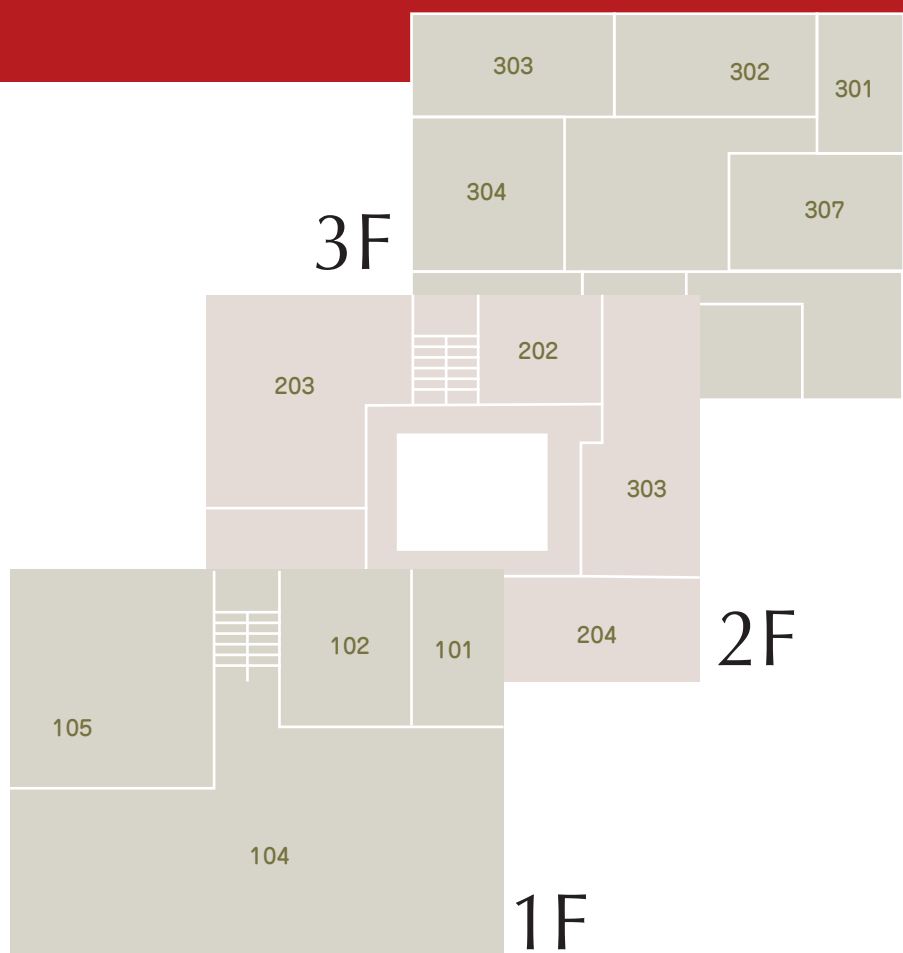
番号	建築物名	所在地	建築年	構造	
1	船木ビル	本町1-15-10	大正9年	鉄筋コンクリート造3階・地下2階	
2	上野ビル(旧三菱合資会社若松支店)	本町1-10-17	大正2年	煉瓦造3階建	
3	旧若松水上警察署庁舎	本町1-11-15	昭和8年	鉄筋コンクリート造4階建	解体
4	古河産業若松支店	本町1-11-18	大正7年	煉瓦造2階建	
5	北九州商工会議所若松支店(旧麻生商会)	本町1-11-19	大正末、昭和初期	木造2階建	
6	若松税関支署	本町1-13	明治38年		解体
7	石炭倉庫	本町1-13-15	明治38年	木造2階建	
8	吉田伝七商店	本町2-16-23	明治30~33年	木造2階建	
9	旧三井物産若松支店社屋	本町2-17-21	昭和5年	鉄筋コンクリート造2階建	解体
10	日本貨物取扱協会	本町3-12-0	大正初期	木造1階建	



Conversion of UENO BUILDING



こんな空間の中で新しい
創造を一緒にしてみませんか・・・。
それは例えば「衣」「食」「住」
その他入居される方の自由な発想で・・・。



このビルの持つ風格は時によって
仕上げられてきたもので、最近では
そのことが評価され、この数年で
数々の映画やTV、コマーシャルなど
のロケ地として用いられてきました。

Value of Architectural Design

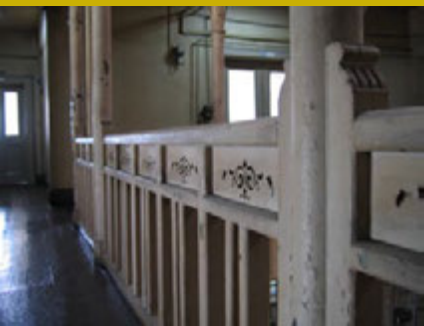
新しい何かに期待を膨らませ、背中を押してもらえるエネルギーを感じてください。きっと新しい、穏やかな力にみちた出発ができそうにな気がしてくることでしょう。

建築物としての価値は現代では得難いものです。それは風雪に堪え、年月という仕上げが加えられたからです。

▲ 吹抜け上部のステンドグラス

左側の階段室 ▶

▼ 装飾の施された吹抜けの回廊



▲ 1階テナントの郵便受け



▶

階段を見下ろす

▶ 3階回廊から吹抜けを見下ろす

▼ テナント入口の静かな佇まい



▶

各室の入口

- 映画
: K-20怪人二十面相・伝(2009)
- TVドラマ
: 「はだしのゲン」(フジTV,2007)
: 「海峡」(NHK,2007)
: 「警官の血」(TV朝日,2009)
- TVCM
: 二階堂「風の海峡」(2000)



ここに紹介するシーンはほんの一部ですが、一つひとつの造作の中にこれを生んだ時代のエネルギーを感じます。これらから元気ももらって新しい創造をオーナーと一緒に始めてはじめるようではありませんか。